

謹啟

連日書札を弄り上ぬ

おふち里の事

中下先礼のねこ

ヒト

お月日の朝

関する

お抄者事

呼名

月

重

あれ

耐

中

一

お

中

お

お

あしきこといひし  
ゆゑに専ら推測に依りて  
此の辭に疑ひありて足按の  
もつしきお物とヒおかし  
お驚え程なきは是を勿  
論ありしにありと由勝者  
よの責任の妨しをを裁利  
し強に其の意を任ると被傷  
中ぬ而して原籍に在りし  
中しきちえ内務省に由得  
せしむるはゆるし  
に疑ひあり

兩者共自らの方より働  
けりけの公文を出さず他より  
移牒ししに限り應る  
せど他より出ることある  
持たざるはありしに  
随ふ恩信のありしは  
恩福の利益を失ふこと  
絶せしむるは  
道徳を失ふことありし  
聲望力量を失ふことありし  
ありしはあり

閣下執りしことありしは  
帖紳とありしはありしは

道徳を以て其の基とし  
聲望力量を要する者  
ありと有りぬ  
閣下執つての如くは  
帖紳を以て考案する  
中を踏むは其の如く  
懇懇と爲す所の如く  
相言 あり

柳原昇造

大隈侯爵閣下

侍史

十月十日

封



東京早稲田

大隈侯爵閣下

必親展

